

守るつもりが町の自然環境！

私たちが住んでいる横芝町は、自然環境に恵まれた美しい町です。この美しい自然を、子どもたちやその次の世代へと受け継ぐのは、今の私たちの責任であり、義務なのです。

今回より、みなさんと一緒に横芝町の環境についていろいろ考えてみたいと思います。

第1回は横芝町の母なる川・栗山川の自然環境についてお話ししましょう。

九十九里沿岸で最も大きな川

栗山川

栗山川は、香取郡栗源町、多古町、そして山武郡横芝町の田園地帯をゆつくりと流れて太平洋に注いでいます。

水源は、栗源町、山田町で『栗山川』のいわれもその地名からとったものといわれています。

- 栗山川の長さ 38.8 km

- 流域の面積 292.3 km² (県下第7位)

- 流域の人口 約12万人 (県下第2位)

現在栗山川は、佐原市にある両総用水第一機場から利根

川の水が引かれ、工業用水、農業用水、水道水として利用されています。主な支流としては、上流から常盤川、多古橋川、借当川、高谷川などがあります。

サケが戻る川

栗山川

みなさんご存じの栗山川のサケは、昭和51年度の「稚魚の放流」から始まりました。

サケは、淡水域で産卵をし、ふ化した稚魚は海へ出て黒潮に乗り北上します。そして、産卵期を迎えると再び自分の生まれた川へ戻ってくる習性をもっています。

太平洋側では、利根川あたりまでが南限と言われていたのですが、栗山川のサケの回帰は不可能と思われていました。

しかし、新たな挑戦として、千葉県内水面水産試験場では、昭和52年1月27日に漁場確保を目的として、最初の稚魚放流を行いました。

今では、放流数は1259万尾で、回帰数は7393尾となっています。

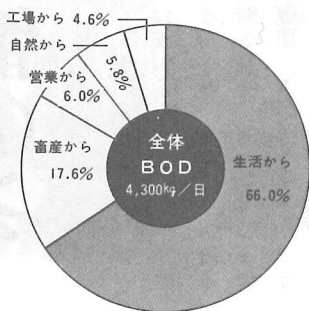
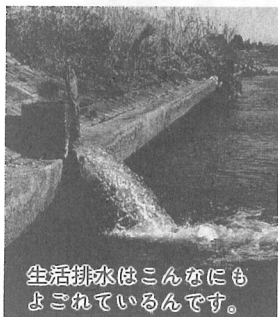


守るつもり！

栗山川を

この母なる川・栗山川は主に周辺市町村の人口増加により、各世帯からの生活排水が多量に流れ込み、水質汚濁が徐々に進行しつつあります。

(下表参考)



生活から	
畜産から	
営業から	
自然から	
工場から	

● = 200kg

栗山川に流れ込むよごれの1日のうちわけ